

## 防災教育 活用事例集

在宅時において災害が発生した時に、  
児童生徒が自分の命を守る避難行動がとれるように

～学校での防災教育の学びを、「個別の避難計画」に活用する～



高知県教育委員会事務局 特別支援教育課  
学校安全対策課

## はじめに

子どもたちは、1日のうちの3分の2は、学校ではなく自宅等で過ごします。南海トラフ地震の発生は、時と場所を選ばないため、子どもたちが在宅時に災害に遭う確率は高いといえます。

高知県の防災教育の目標には、「自分を守りきる力（助かるための力）の育成」を設定し、「いつでもどこにいても、一人でもいる時でも、自ら危険を回避し、生き抜くために必要な知識や行動力、そして精神力」を子どもたちに身に付けさせたい力として掲げています。

各特別支援学校（学級）では、児童生徒の実態に応じて、「自宅からの避難場所及び避難経路の確認」や「家庭での防災対策（備え）」「避難場所での過ごし方」などについて、児童生徒が保護者と共に確認し、避難行動や防災対策を考える取組を行っていただいているところです。

各自治体でも、災害対策基本法に基づき、災害時における避難行動要支援者への避難支援が十分に行われるよう、「個別の避難計画」の作成が進められています。「個別の避難計画」には、対象者が災害時に必要としている支援内容や、自宅からの避難場所及び避難経路等を記入するようになっており、在宅時における発災時の適切な避難行動につなげることをねらいとしています。

そこで、学校の防災教育の学習内容を家庭と共有し、各家庭が「個別の避難計画」を作成する際にこれらの情報を活用することにより、家庭の防災意識の向上や防災対策が進むことが期待されます。特に、自治体や地域の支援者と「個別の避難計画」の記載内容を共有することにより、特別支援学校（学級）に通う児童生徒の障害特性等を理解していただき、在宅時からの避難行動について適切な支援が受けられることも考えられます。このことは、発災時の安否確認や日頃からの関係づくりにもつながります。

この事例集では、防災教育の学びを「個別の避難計画」に結び付ける内容や家庭への啓発方法等について、県内外の実践事例を紹介しています。

各特別支援学校（学級）においては、この事例集をヒントとし、児童生徒が在宅時において災害が発生した時にも自分の命を守ることができるよう、家庭と連携した防災教育の一層の展開をお願いします。

## 目次

防災教育の学びを、「個別の避難計画」に（フロー図）・・・ 1

「個別の避難計画」について・・・ 3

### 家庭と連携した防災教育 実践事例

- ・ 授業実践例・・・ 11
- ・ ワークシート・・・ 23
- ・ 保護者や地域及び関係機関との連携・・・ 37
- ・ 「個別の教育支援計画」への記入・・・ 52

### 家庭への啓発（アプローチ）事例

- ・ 「家庭連絡票」「避難場所等調査票」等の記入枠の設定・・・ 56
- ・ 防災参観日の設定・・・ 58
- ・ 防災教育だよりの発行・・・ 84
- ・ 家庭での防災対策（備え）・・・ 92
- ・ 「ヘルプカード」携帯の提案・・・ 95